

# 令和4年度 学校経営計画

江田島市立三高等学校

## I ミッション（地域社会における自校の使命・存在意識）

生徒に「知・徳・体」の基礎・基本の徹底を図り、保護者から信頼される学校づくりをめざす。

## II ビジョン（目指す学校像・自校の将来像）

- 教師が授業力の向上を図り、生徒が主体的に学び、確かな学力と表現力を身に付ける。
- 健康でたくましい身体、道徳科を要として自他ともに大切にできる豊かな心を育む。
- 地域に貢献できる開かれた学校をつくる。

## III 現状分析

### 【知】

- ・小規模校の特性を生かし、きめ細やかな指導や新しい取組を行う教職員が多い。また、協働的な学習を中心に据えた学習過程を工夫や、ICTの効果的な活用の工夫で授業力は徐々に向上してきている。生徒は、素直で何事にも真面目であり、真剣に授業に取り組んでいる。しかし、コミュニケーション能力や自己表現力が低く、自ら考えて学ぶことに課題がある。
- ・令和3年度江田島市学力調査において、1年生国語で-4.3ポイント、英語で-0.4ポイント、2年生国語で-6.4ポイント・社会で-2.3ポイント、理科で-2.9ポイント 全国平均より差がある。

### 【徳】

- ・生徒は落ち着いて行動できており、問題行動はほとんど起きていない状況である。
- ・時間を守る、挨拶をする。返事をすることに関しての肯定的な回答は、どれも80%以上であるが、よくあてはまるという項目は、平均約48%である。
- ・委員会活動やボランティア活動には、主体的に活動する生徒の肯定的な回答は90%以上であるが、よくあてはまるという項目は、平均約48%である。

### 【体】

- ・運動有能感（①身体的有能さの認知：運動ができる ②統制感：努力すればできる ③受容感：受け入れられている）の向上へ向けた体力づくりを推進した。目標数値を48点満点中38点以上にしたが、35.1点である。

## IV 目標及び取組 自ら学び、心豊かで自己表現できる生徒の育成

中期経営目標	短期経営目標	評価項目
課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成する。	基礎・基本の定着を図る。	江田島市学力調査
	確かな学力を向上させる。	「主体的・対話的で深い学び」授業づくり
「時を守り、場を清め、礼を正す」ことの意義を理解し、自ら実践できる生徒を育成する。	場を清めること、時を守ること、あいさつ、返事の意義を理解しながら実践し、社会でも通用する生徒を育成する。	「時間を守る」「整理整頓・掃除をする」「あいさつ・返事をする」（3項目）の徹底
生徒指導の三機能を生かし、生徒の自主的、実践的な態度を育成する教育活動を充実させる。	道徳教育を基盤として、学校行事、生徒会活動、部活動等を進めるとともに、教育活動に生徒指導の三機能を位置づける。	生徒の自治的な教育活動を通じた、自己指導能力の育成
組織的に体力づくりを推進する指導体制・方法を構築する。	運動有能感の向上へ向けた体力づくりの取組を推進する	マネジメントサイクルに基づく、組織的・系統的な業間運動等の取組等の推進
教職員の服務規律の厳選確保を図り、信頼される学校づくりに努める。	働き方改革を意識し、行事の精選や業務内容の効率化を図り、教職員がゆとりを持って校務を遂行する。	働き方改革の推進
	積極的に情報発信を行い、保護者から通わせたい学校づくりを推進する。	地域・家庭への情報発信・受信（学校だより、保健だより：月1回以上発行、HP：週1回以上更新）